

# いっぽ だより

2021年度 No. 11

はじめのいっぽ

2022年2月26日

三月の声が聞こえてくる今日この頃、皆さん、元気でお過ごしでしょうか？。十勝はまだ寒い日が続いていますがもう少しの辛抱です。草も、木も、動物も、そして私たち人間も北国の長い厳しい冬を乗り越え、来る春をじっと待っています。コロナという言葉聞いて早2年が過ぎ、私たちの足元にも第六波の波が押し寄せ身近なところにジワジワと迫りつつありますが、初心に戻って絶対に子どもたちから感染者を出さないように予防対策「手洗い」「うがい」「マスク」「換気」「検温」「蜜を避ける」を徹底することで、この忌まわしいコロナを春の風で吹き飛ばそう！と職員一同誓いあっています。子どもたちは毎日、コロナに負けないで“いっぽ”に元気に通っています。

代表 石橋 和久

2月いっぽでは、みそづくりを予定しておりましたが、学校・学級閉鎖により子どもたちの休みが多かったため、延期をしましたが、大豆が頭から離れません。そこで同じ大豆を使った豆腐作りにチャレンジ！ 臭汁を温めていると急に泡が盛り上がってきて大慌てをする場面もありましたが何とか完成！かたまりが不揃いでしたが味は最高に美味しい豆腐ができ、みんなで味わいました。月に一度は“なにかを素材からつくる”にチャレンジしていきたいと思います。



去年のみそづくり風景

いっぽの食育の原点でもある“みそづくり”を楽しみにしていた子どもたち。少しでも多く参加できるタイミングを見つけ、3月に実施いたしますので、ご協力よろしくお願い致します。



水にうるかし



ミキサーでなめらかに



豆腐のにおいになったら  
絞り、にがりを入れる



水を切って出来上がり

## スケジュール

日時	行事
3月 3日 (木)	桃の節句
3月 12日 (土)	みそづくり
3月 14日 (月)	定例会議
3月 21日 (月)	春分の日
3月 30日 (水)	人形劇みみず
2月 ~ 3月	個別面談月間

## 小中学生編

子どもたちの間から「スケートがしたいと要望があり市民スケート場に行ってきました。

「学校でもスケートをしているのに・・・」と思っていたスタッフは、のんびりと友達同士でくつろいだり、歓声を上げて滑る姿を見て、いっばの仲間とだから滑りたいんだなあ～と納得でした。

また、近くの河川敷の土手で雪まみれで転げ落ちたり、市民ミニスキー場でソリすべりを楽しんだりと北海道の冬を満喫しています。

いっばの雪山では連日お山の大将戦が繰り広げられ、子供それぞれが力まかせではなく「危険とは何か?」、相手を思いやる力加減を体で勉強する場となっています。これは日常生活の中でも大いに役に立っていくことと思います。昔は子ども同士外で遊びながら学んでいたのですが、今の時代大人が遊ぶきっかけを作ってあげなければ、なかなか経験できる時間がないように思います。

室内では、みんなの前で自己表現する場を出来るだけ多く作ってあげています。鉄琴とピアノのハッピーバースデーソングの合奏や、自分で脚本・制作した物語を自分の朗読で表現する子が現れたり、自由にのびのびと自信を持って表現出来るいっばになっています。



## ひつじ組 編 (未就学児)



2月3日節分です。「おにはそと、ふくわうち」と言いながら豆をまく、私たちも子どもの頃まいた記憶がありますが、言葉の意味まで理解していた記憶はありません。それでいいのだと思います。成長と共に理解し本来の意味を知る。「ああ！そーだったんだ！」と納得したとき文化が継承されていくのだと思います。豆をまいたり、3月の桃の節句には、お雛様を飾ったり、日本古来の大切な行事をおろそかにせず、ゆとりある心で子どもたちの成長を見守るのが、大人の役割だと信じております。。



2月はお買い物月間！ 毛糸のスパゲッティやドーナツ。メイちゃんミーちゃんの毛で作った綿あめ、カラフルなドリンクもあるよ！ お金づくりではハサミが上達したし、ノリの使い方も上手になりました。お店屋さんごっこ当日は、「あれもほしい、これもほしい」「お金はたりるかな～？」などなど大盛況！即日完売となりました。その日のお昼ごはんの時、「僕買ったもの食べるから大丈夫！」とお店屋さんで買ったものをテーブルに乗せるおともだちも・・・



外遊びの準備はみんな上手に出来るようになっていきます。この一年間の成長をつくづく感じる瞬間です。また、深い雪の中をかき分けていく体力と脚力も付き、雪が融けた春の地面を思いっきり蹴って走り回る姿が楽しみです。ガンバレいっほのこどもたち！

